

下関リハビリテーション病院 季刊誌

# オレンジ

人と人、心と心。いつも春の陽だまりでありたい。

Shimonoseki Rehabilitation Hospital



岩屋戸ダム

(撮影者：事務部 藤田なつみ)

## 病院理念

手には技術、頭には知識、患者様には愛を

## CONTENTS

- |    |                      |    |          |
|----|----------------------|----|----------|
| 2P | 総合事業が始まりました          | 6P | 家族教室     |
| 3P | パーキンソン病に対するリハビリテーション | 7P | ウォーキング学会 |
| 4P | ICLS研修               | 8P | 医療連携室より  |
| 5P | 訪問リハビリテーション協会学術大会    | 8P | アクセス     |
| 5P | 院内勉強会                |    |          |



一般社団法人 巨樹の会  
下関リハビリテーション病院

介護予防・日常生活支援総合事業が始まりました！

リハビリの専門職による

週に一度 **介護予防** **転倒予防** **認知症予防** の運動をしてみませんか？

5月より  
スタート！  
しています



病院前の旧レンタルビデオ屋さんは『いまいき健康館』に生まれ変わりました！



リハビリ専門職による運動を実施

いまいき健康館



休憩スペースもあります



認知症予防トレーニング



院長 林 研二

定期的な運動は認知症や転倒を予防します！

週に1回、90分の運動をしてみませんか？

実施日時

午前の部：10：00～11：30

午後の部：14：00～15：30

実施日：月～金曜日（祝日も実施）

※ご利用は週一回となります。

定員：15名

利用料金：200円（負担割合によっては400円）

ご利用者様の声



大変楽しく午後のひと時を身体を動かすこと、脳トして随分認知症予防になっていると喜んでいます。

和気あいあいと楽しくできて感謝しています。

一日が楽しいです。ずっと来たいです。



理学療法士、作業療法士、看護師など専門職による指導を受けられて基礎筋力を鍛えることができありがたいと思っています。



私たちが担当しています！



理学療法室主任 高木 雄作

理学療法士 永岡 利規

パーキンソン病に対するリハビリテーション（LSVT）のご紹介



当院ではパーキンソン病に特化したリハビリテーションプログラム（LSVT）を行っています。認定を受けた3人のセラピストが対応いたします。

パーキンソン病は無意識下で出現する手足の震え（振戦）、こわばり（固縮）や緩慢で小さくなってしまった動作（無動）により、小刻み歩行やすくみ足などの運動障害を来す病気です。この「無意識下」で脳が正常と認識してしまった小さな動作を、「意識的に」大きな動作を繰り返すことによって脳の認識を修正し、適切な大きさの動作へと変えて行きます。



約4週間のプログラムを集中的に繰り返し行うことによって、新しい動作の獲得を目指します。

初期評価  
1週

運動療法  
4週

最終評価  
1週

さらに、この病気に対して「受け身」であった従来の考え方が、自分の力で改善できるんだという「能動的、主体的」で前向きな考え方に変わってくるため、明らかに朗らかで明るくなると思った効果も見逃せません。

外来通院でのリハビリでも可能ですし、遠方であったり転倒リスクの高い方は入院でのリハビリも可能です。現在、予約患者が多いため多少お待ちいただく事があるかと思いますが、ぜひお勧めしたい治療法です。



医師 小川 浩一

オススメです！

お問い合わせ  
相談受付はこちら

医療連携室 TEL：083-232-5811（代）

ICLS 研修



平成 30 年 5 月 28 日に当院で ICLS 研修を開催しました。ICLS とは、医療従事者のための蘇生トレーニングで「突然の心肺停止に対する最初の 10 分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得する事を目標として、講義後、少人数のグループに分かれて実際に即したシュミレーション実習を行いました。突然の心肺停止を生じた人の予後は、倒れてからの 10 分間の対応で決まってしまう。病院スタッフ誰もが標準的なスキルとして

心肺蘇生の技術を身に付けておく必要があります。

参加者は 43 名で BLS（心肺停止または呼吸停止に対する一次救命処置）、気道管理および挿管、除細動器の使用についてカテゴリーに分けて行いました。BLS は発見時の意識確認からの全体の流れおよび胸骨圧迫のポイント、除細動器は基本的な操作方法（接続から放電までの操作方法）、気道管理は気道確保の方法および BVM（口腔よりマスクにて他動的に換気を行う為の

医療機器）の理解について焦点を当てて行いました。

最初は緊張していたスタッフも目の輝きを増し達成感のある顔で終了することができました。病院職員全員が質の高い CPR（心肺蘇生法）を実践できるよう繰り返しシュミレーション実習を計画していきたいと思ひます。



副看護部長 田中 忍



第 12 回 日本訪問リハビリテーション協会学術大会 in 北九州に参加して

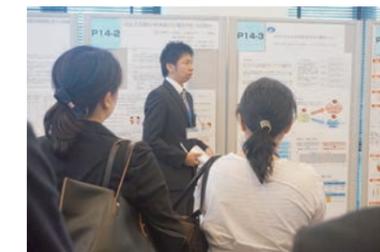
6 月 16 日（土）と 17 日（日）に小倉にある国際会議場で開催された学術大会に参加させて頂きました。今回は一般参加ではなく運営スタッフの一員として参加し、



運営の大変さを身をもって体験しましたが無事に終了することができて安堵しています。

今回のテーマは「その人らし

く」を支えきること～すべてのステージでいきる訪問リハとは～”となっており高齢者の方が自宅内のみで生活するわけではなく自宅外での社会参加も促進することが目標です。全国の病院の症例発表や取り組み、研究が数多く集まり大変参考になりました。当院からも 2 名が発表しており多くのアドバイス頂きました。



学会発表は大変かもしれませんが得るものも多くあります。機会があればまた参加したいと思います。次回は新潟で開催予定です。



リハビリテーション科  
理学療法室主任 高木 雄作

院内勉強会 『医療安全小委員会勉強会について』



先日 5 月 11 日と 24 日の二日間で“患者取り違い事故”についての DVD を用いた医療安全小委員会主催の勉強会が行われました。事例概要としては「1999 年 1 月 11 日神奈

川県横浜市金沢区の横浜市立大学医学部附属病院第一外科で、肺手術と心臓手術の患者を取り違えて手術、切開後気づいた。看護婦の搬送ミスが直接の原因であった。」というも

のでした。医療事故の発生にはリスク管理に関する概念の一つ、スイスチーズモデルが用いて表現されます。それは全ての防護壁の穴の位置が重なり繋がることで、事故は起きるとされています。

ヒューマンエラーはなくなるため、防止対策が必要です。改善すべきは人ではなくプロセスであり、人の特性がマイナスにならないようにシステムで考えることが大切です。ダブルチェックにも落とし穴があり、他者の失敗から日々学ぶ姿勢が大切だと考えます。



看護部  
看護師 田口 咲枝

家族教室

5/12 開催 『介護保険（申請の流れ・退院後のサービスの利用）』

今回、介護保険制度の申請の流れや退院後のサービスの利用についてお話させていただきました。

まず、介護保険制度の概要や申請の流れについて、図や表を用いて説明しました。その上で介護保険を利用して受けることができるサービスについて、在宅サービスと施設サービスがあり、当院退院後利用されることが多いサービスを中心に1つ1つ内容の説明を行いました。

また、昨年より開始された「介護予防・日常生活支援総合事業」（以下、総合事業）について説明しました。総合事業とは介護認定を受けていない方でもチェックリストで対象となれば利用できるサービスです。新たに始まった制

度なので、今年は総合事業の内容も盛り込ませていただきました。そして、身近で行われている当院の通所リハビリテーションと訪問リハビリテーションと介護予防教室もあわせて紹介しました。

説明の後にはいくつか質問をいただきました。具体的には介護保険制度の自己負担割合金額はどう決まるか、ショートステイは何日まで利用可能かなど様々な質問がありました。

当日は患者様やご家族がたくさん来られており、介護保険について興味・関心がある方が多いと感じました。また、質



問の内容を通して患者様やご家族が介護保険の内容を詳しく知りたいと思っ

ていることが分かりました。今回の家族教室を通して、私自身、介護保険制度について説明することで、学びを深めることができました。参加して下さった皆様、ありがとうございました。



医療ソーシャルワーカー  
社会福祉士 竹田 佳代

参加者の声

- ・介護サービスについて具体的な内容が理解できた。
- ・自己負担の目安がわかった。
- ・何度も話を聞かないと、中々理解が難しいと思います。
- ・介護で受けられるサービスがあることがわかって良かった。

6/9 開催 『排泄管理（排泄の仕組み・オムツ交換について）』



「在宅での排泄介助をもっと楽に」～困ったことをパッと解決 見て聞いて試して最新おむつの性能～という演題でアテントの坂梨さんに講義していただきました。

まず排尿のメカニズムについて説

明後、体型にあったおむつの選び方、ADL（日常生活動作）にあったおむつのタイプの選び方、排尿量に合わ



せたパットの選び方の説明がありました。

その後模型を使用し、漏れにくい

おむつの当て方について詳しく説明がありました。ポイントは『ギャザーの当て方』にある、とのことでした。

最後によくある漏れの例と対策について説明があり『重ね使いは漏れの原因』と言われていました。病院周辺のおむつの購入ができるお店の説明もあり、参加者の方より『わかりやすかった』との声がありました。



看護部 看護師  
副主任 森岡 梨絵

参加者の声

- ・具体的な着け方がよくわかった。
- ・オムツにもいろいろ種類があることがわかった。使い方がわかった。
- ・尿漏れパンツの履かせ方などわかった。
- ・わかりやすい説明だった。
- ・実際に出来るか不安だが、今日聞いたことを実施してみる。

次回は、理学療法士による『介護・介助指導①(寝返り・起居動作・立ち上がり・歩行)』  
日時：7月14日(土) 13:00から

第22回 日本ウォーキング学会 in 下関

演題募集中！



第22回 日本ウォーキング学会 下関大会

～ウォーキングでアンチエイジング～



演題募集

日頃の活動を発表しませんか？

自分たちのウォーキング・スタイルや歩行の研究やメカニズム、高齢化社会におけるウォーキングの役割、ウォーキングでアンチエイジング等、是非この機会に発表してみませんか。

ブース展示募集

自社商品の魅力を宣伝して、ウォーキング・ファンを増やしましょう！

ウォーキングを安全かつ効果的に楽しむための器具、グッズを展示し宣伝しませんか。展示ブースでのウェア、シューズ、ノルディック・ポールなどの展示・宣伝OK!

懇親会：海峡バイキングシーガーデン（海峡メッセ下関 4F）13日 18:30 開始予定

参加者募集

記念ウォーキング大会

「関門海峡しおかぜウォーク」

歴史の町下関を歩きながら、ウォーキングの楽しみ方、将来の展望について語り合い、仲間を増やしましょう！下関と門司をつなぐ海の中、関門トンネル人道も歩きます。

日時：10月14日（日）9:00～12:00 開催予定

参加費のご案内

事前申込み受付中	学会員			非学会員
	一般	学生		
学会大会	当日申込 5,000円 事前申込 4,000円(振込)	3,000円 2,000円(振込)	3,000円 2,000円(振込)	
懇親会	当日申込	5,000円(当日現金)		
記念ウォーク	事前申込	500円(当日現金)		

第22回日本ウォーキング学会 下関大会 実行委員会

事務局：石田 憲司（下関リハビリテーション病院 事務局長）

問い合わせ先：TEL.083-232-5811

専用メールアドレス：walking-gakkai22@shimoreha.jp



是非、ご参加下さい！

大会会長 林 研二（下関リハビリテーション病院 院長）

## 医療連携室より

昭和44年

・福岡市西区早良病院 医療ソーシャルワーカーとして入職  
リハビリテーション部 / 通所リハビリテーション部 / 医療  
社会事業部部長を兼任

平成20年10月

・福岡医療福祉大学 人間社会福祉学部教授  
教授の傍ら、医療法人 武田内科 地域連携室長  
非常勤として臨床を続ける

平成27年

・福岡県立大学大学院 人間社会学研究科 福祉社会専攻 終了  
・日本医療ソーシャルワーク学会 会長 就任



日本医療ソーシャルワーク学会 会長

### 講師：大垣 京子 先生をお迎えして

講演  
内容

相談援助を行う中で大切な『コミュニケーション技術』に焦点を当て、講義やグループワークを通じて即戦力となり得る知識や技術の理解と獲得。



社会福祉士 島崎昇平

【研修概要】  
解決構築の考え方を中心とした講義でした。解決構築の考え方は、仕事が続けられないことを例に挙げる、「どうして辞めたのか」ではなく「どうすれば続けられたのか」という考え方が基本になるということです。その後、原因を追究していくことを目的とする医学モデルと言われる対話と解決構築の対話について、どのような場面でのように活用していくのか、コンプリメント（相手を褒め、長所を確認すること）の活用、質問や対話方法（スケールリング・クエッション、要約・言い換えなど）について説明がありました。その後、グループワークを通じて面接の流れやコンプリメントの実践を行い、まとめとして、笑顔で面接が終われるようにしようとの言葉がありました。

新行橋病院より転籍して参りました  
スタッフを紹介します。

### 退院相談窓口



3階病棟相談窓口  
医療ソーシャルワーカー  
おんづか ともあき  
恩塚 智光

★自己紹介

- 出身地：大分県中津市
- 趣味・特技：野球・スポーツ観戦
- 心に残っているエピソード  
老健に勤務していた時に、ショートステイ利用時から担当させて頂いたご利用者の入所、在宅復帰支援に携わり、施設で看取った時にご家族から、担当が自分で良かったと言われたこと。
- 夢  
東京オリンピックの開会式を見に行くこと。

【研修を通じて】  
大垣先生の勉強会では解決構築についてたくさん学びと気づきをさせて頂きました。解決構築の対話で最も大切なことは相手をコンプリメントするということが分かりました。大垣先生のコンプリメントを用いた面接の仕方を聞き、今までの面接の場面が思い起こされ、反省点や改善点に多く築くことができました。患者様の強みに焦点を当て、今後患者様がどのような生活を送っていききたいのか、どうしたらこの悩みを解決することができるのか、という考えを患者様と一緒に考えていけるように、そして相談しやすい医療ソーシャルワーカーになれるように今後も努力していこうと思えました。



社会福祉士 重住千聖

一杯の対応と今後学んでいく知識や経験などを活用して患者様が望む生活に近づけるように一緒に不安や悩みに対して向き合っていきたいです。また、このような研修会などを通して、近隣病院やグループ病院と連携を密に行い、どのような課題にも対応できるようなネットワークを築いていきたいと思えました。

表紙の写真 📷 撮影者コメント：宮崎県にある日本三大秘境の椎葉村を旅した時の風景です。自然豊かな場所で癒されました。



一般社団法人 巨樹の会

## 下関リハビリテーション病院

〒750-0064 山口県下関市今浦町9番6号  
TEL:083-232-5811  
FAX:083-232-0219  
URL:http://www.shimoreha.jp  
Mail:info@shimoreha.jp

### アクセス方法

- JR 下関駅より徒歩5分
- サンデン交通竹崎バス停より徒歩1分

